

臨地実習（精神看護学 / 高度実践コース）

[実習] 通年 必修 90時間 2単位

《担当者名》○八木こずえ [co-yagi0913@hoku-iryu-u.ac.jp]
 宮地善子 [miyajih@hoku-iryu-u.ac.jp]
 中安隆志 [nakayasu@hoku-iryu-u.ac.jp]

【概要】

臨地実習では役割機能実習を行う。精神専門看護師のシャドーイングを通して6つの役割がどのようなニーズや組織体制、人との関わりや方法で行われているか、目的や方法、構造や機能、成果や意味を具体的且つ実践的に理解する。役割機能の全体像と活動のイメージを形成し、自らが実践する立場を想定しての参考点と自己課題を考察する。

【学修目標】

- 1) 日々の活動の根拠や基盤となる組織ニーズや活動のアセスメントについて、専門看護師との対話や資料類から学び、精神専門看護師の役割機能の具体化について理解できる。
- 2) 専門看護師の個々の活動の実際を役割機能の全体像として描き、精神専門看護師としての活動について、自らが実践する立場を想定して考察し、参考点と自己課題を明確にする。
- 3) コンサルテーション・コーディネーション事例を通じて、専門看護師が活動の方向性や内容をどのように考察・判断しているのか、介入までの経緯、看護管理者やスタッフとの連携の持ち方、事例の状況や実践内容について包括的に理解する。
- 4) 専門看護師による、医療保健福祉チームが抱える倫理的問題や葛藤の発見や解決に至る倫理調整のプロセスを実践的に理解することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	【実習課題】 1. 日々の活動の中で6つの役割機能がどのように具体化されているのかを理解する。	1) 日々の活動の見学を通して、展開していた実践内容と背景にある状況や、目的や機能、意味を考えながら記録にまとめる。 2) 専門看護師の解説と疑問点への質問を通して、役割を具体化ための組織ニーズや人との関わりを理解する。	八木 宮地 中安
	2. 役割機能の全体像と実践のイメージを描き、自己課題を考察できる。	1) 見学と解説や話し合い、記録のまとめを通して、役割機能の全体像について説明する。 2) 自分が役割機能を果たすことをイメージしながら自己課題を考察する。	
	3. コンサルテーション・コーディネーション事例の実践内容と意味、背景を理解できる。	1) コンサルテーションやコーディネーションの見学や解説を通じて、実践内容の組み立てや経過、意味について、専門看護師のアセスメントを理解する。 2) 倫理については、倫理的問題や葛藤の発見、解決に至る調整の経過に関心を持ち、積極的に質問を行い理解できる。	
	【実習方法】	学びたい実践内容を専門看護師に相談し調整を依頼する。目的を意識を持った積極的姿勢で見学し専門看護師との対話を通して疑問点を明確化し、実践者の立場で学ぶ。記録のまとめで自己課題をみつめる。	
	【実習場所】	学生の臨床経験や課題を考慮し3施設の中で最も適切な施設を相談し決定する。	
	【実習期間】	基本は2週間であるが、課題達成状況により延長する	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習記録の評価（30%）実践内容の評価（30%）レポート評価（40%）

【教科書】

指定しない

【参考書】

宇佐美しおり・野末聖香編集:精神看護スペシャリストに必要な理論と技法.日本看護協会出版会.2009.

【備考】

実習要項を参照すること

【学修の準備】

専門看護師の役割機能についての文献を読み込み、理解して臨むこと。